



春里中学校

学校だより 令和7年度 8・9月号

TEL: 048-683-3458

FAX: 048-683-8979

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

「再始動」

校長 うえ 上 だ 田 やす 泰 まさ 正

暑かった夏が去っていきこうとしています。いよいよ今日から2学期が始まりました。

「めり(減り)はり(張り)をつける」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。野球の投手に例えると、直球だけの全力投球では身がもたなく、その単調さから打たれてしまうことがあります。そこで、緩急をつけた投球術こそ、よい投手であるといわれます。気持ちをゆるやかに過ごした夏休みは「めり」で、今日から学校生活に真剣に取り組む「はり」の2学期が始まったというふうに考えてほしいと思います。夏の疲れを一日も早く回復し、また、気持ちを引き締めて充実した毎日を過ごしていきましょう。

さて、学校だよりの7月号に記載しましたが、ほとんどの部活動が2年生を中心とする新体制に代わる転換期です。そして、2学期は、学校の中での役割や立場が変わる時期『再始動』の時であると考えます。

2学期は、生徒会本部役員選挙、新人体育大会、合唱コンクールなど、多くの行事が続きます。1・2年生は、3年生からこれまでの伝統を引き継ぎ、学校の要として生徒会活動・部活動の中心となって活躍する時期です。何事にも「自ら気付き、行動する」参加意識をもち取り組んでほしいと思います。1学期以上に充実した学校生活を送ることを願っています。

全国的に見ると、未だにいじめに関わる問題が新聞等で報道されています。学校としても、朝礼や学級指導等で「いじめは絶対に許されない」ことを生徒に繰り返し話をしていきます。また、7月30日(水)に「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が開催され、さいたま市内小・中・高等・中等教育・特別支援学校の児童生徒代表、教職員、保護者、地域団体、関係行政機関の方々が参加し、市を挙げて、いじめの防止等について考えました。

今後も、様々な場面で「いじめは人としてやってはいけない恥ずかしい行いであること」「いじめられていると思ったら、必ず周りの人に相談しよう」等を分かりやすく、何度も生徒に伝えていきます。学校においても、生徒の変化を見逃すことがないように定期的にいじめに関するアンケートを実施するとともに、生徒のサインを適切にキャッチし、生徒の心に寄り添い、周りにいる我々大人が「絶対の守護神」となるよう全教職員で取り組んで参ります。御家庭におかれましても、子どものサインをキャッチしていただき、顔の表情や行動等で何かおかしい面やお気付きの点がありましたら、早めに学校の担任等に相談していただきたいと思います。

最後に、保護者・地域の皆様方には、2学期も様々な機会に忌憚ない御意見を賜りますとともに、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。